

令和7年度第4回武蔵野市農業振興基本計画策定委員会 会議要録

1 日時 令和7年10月8日（水曜日）午後1時59分

2 場所 武蔵野市役所813会議室

3 議事

1 前回委員会の振り返りと今回委員会の到達点について

2 計画本文案の検討について

（1）構成案について

（2）本文案について

3 その他・事務連絡について

4 出席委員

委員	長	淵野雄二郎	委員	佐々木憲一
副委員	長	後藤幸治	委員	榎本吉恭
委員		相原宏次	委員	中村健二
委員		森田茂紀		
委員		八島新平	委員	田川良太

5 欠席委員

委員 平野優美

6 委員以外の出席者 なし

7 事務に従事した職員

課長		小池鉄哉
課長補佐		合田宇宏
主任		助川瑞樹
主任		森麻衣子
会計年度任用職員		浅賀恵津子

1 前回委員会の振り返りと今回委員会の到達点について	
	<p>事務局より説明を行った。本市農業の現状や課題、計画の構成等を踏まえつつ、事務局にて計画本文案&lt;たたき台&gt;を作成したため、今回はこれを基に次期計画の構成及び本文案についてご議論をいただきたい旨を伝えた。</p> <p>また、次回委員会はパブリックコメント前の最後の委員会となり、そこでは素案を確定する段階となるため、本日の委員会で活発なご議論をお願いしたいと説明した。</p>
2 計画本文案の検討について (1) 構成案について	
	<p>資料2に基づき、事務局にて作成した「計画本文案&lt;たたき台&gt;」について、説明を行った。また、業経営基盤強化促進法に基づく基本構想部分の数値については、附属のものとして第7章にまとめたということも含め、全体の構成について説明した。</p>
委員長	<p>委員の方から意見を伺いたい。●●委員から意見をいただいた後、順次、皆さんの意見を聞く形で議論を進めたい。</p>
委員	<p>計画においては、その構成と流れが非常に重要になってくると思う。また各章間の関係や、課題と施策との対応関係が重要である。このような課題については、このような対応をしていく、ということ想定したうえで、計画が構成されているということが非常に重要かと思う。</p> <p>第1章のところだけ簡単に申し上げると、原案に対して、書くべき項目はきちんと通知されている。</p> <p>「3 農業振興基本計画策定の目的」のところは、計画期間は既に重複して出てきており、残りの内容は別のところに移したほうがよいと思うため、ここの項目はあえて挙げなくてもよいのかなという気がしている。</p> <p>また、その計画の目的を明示すべきだと思うが、具体的な文言等に関しては今申し上げる段階ではないと思っ</p>

	<p>ている。</p> <p>その基本計画を実現するため、どのような手順で策定し、最後に計画がどのような構成になっているのかを述べた上で、第2章以下の各論に入っていくというところが、分かりやすいと思った。</p> <p>また用語については、最後に簡単にまとめておいたらどうかと思う。各章の注としてもよいかもかもしれないが。</p> <p>第2章以下は、現状、課題、施策の論理の流れをうまく作り、分かりやすくしていくということが必要だと思った。</p>
事務局	<p>第1章の順番づけについては大変参考になる。</p> <p>用語の解説については、これはまだたたき台の段階なので載せられていないが、巻末などにしっかり載せることを考えている。</p> <p>また、同じ産業振興課が所管するもので、産業振興計画というものもあり、その中では用語をコラム的に載せている。より皆様の理解が深められるような形に工夫していきたい。</p> <p>あと一番大きなところで、現状、課題と、それに対応した施策の展開をどのように見せていくかという点があると思う。なかなか事務局としても迷うところだが、今は第3章で現状と課題、第5章で施策の展開を示しており、その点が分かりづらいという意見が多分にあると思う。</p> <p>例えば、現状、課題と施策の展開を一まとめにするという考え方もあるとは思う。</p> <p>また、この今のたたき台では、現状・課題と、第5章に並んでいる施策の接続が少し見えづらいところもあると思うので、第5章の冒頭に「第3章の現状や課題を受けて、このような施策の展開をする」というようなリード文を書くこともよいかと思う。●●委員の意見を踏まえ、しっかり検討していきたいと思う。</p> <p>第5章の部分が、今後の市の施策として、現状と課題を踏まえた上で抽出して、施策の方向性を示しており、本日の本丸である。皆様から意見を賜りたい。</p>
委員長	<p>これまで、掲げる重点施策と、従来の基本計画を振り</p>

	<p>返りながら、到達点をそれぞれ議論してきた経緯がある。本来、農業従事者数や、農地面積、戸数等は、現行計画がどこまで達成しているかという結果指標だと考えられるが、これをあえて第7章に離して整理したというところに違和感がある。</p>
事務局	<p>経緯は冒頭で述べさせていただいたところに尽きるが、6章から7章への接続の仕方は課題であると我々も改めて認識している。</p> <p>正直迷っている部分は、この基本構想部分を「第7章」としているが、果たしてそれでよいのかというところである。例えば第7章だけを独立させて、別編のような形で後ろに持ってくるか否かについても、委員の皆様にお諮りをしたい。</p>
委員	<p>第7章の考え方は、前回の説明も含めて理解できた。</p> <p>第4章のところは、議論も踏まえて非常にうまく整理をしていただいていると思う。</p> <p>それで、先ほど申し上げたように、それがそれまで書かれている課題とどのような関係にあるのか。勝手に自分でチェックをしてみたのだが、きちんと対応はしている。これからも意識して進めていただければと思う。</p> <p>非常に分かりやすく、かつ課題との対応もうまく整理されているのではないかと思う。</p>
2 計画本文案の検討について (2) 本文案について	
	<p>事務局から、第1章から第5章の本文案について説明を行った。</p>
委員長	<p>●●委員から順番に御意見を伺いたい。</p>
委員	<p>今回、たたき台を事前に送っていただいたが、民間の会社では、先にコンセプトや理念ありきで、そこから戦略、戦術というのが出てくるのではないかなと思うので、ここが未定というのが、このようなやり方もあるのかと思った。</p> <p>また、地球温暖化というのは武蔵野市だけでなく、日本全国、世界中の課題だと思うが、ここを私はとても大</p>

	<p>事だと思っている。関東南部ぐらいまでは亜熱帯と言える可能性があるという話があるが、亜熱帯という環境の中で、どのような農業をやっていくのがよいのか。</p> <p>「検討する」や「研究する」という文言が多くて、シャープにならないなと思う。具体的な記載がほしい。お役所的にならないでほしい。</p> <p>第2回の委員会で現行計画の振り返りをしたが、いわゆるPDCAを回して、目標達成できなかった点も含めて明らかにしていったほうがよいと思う。</p>
事務局	<p>「文言をもう少しシャープに」というご指摘が心に響いた。10年物の計画で、5年に一遍の見直しがあるとはいえ、どこまで書けるかといったところはあるが、前向きに書ける部分は書いていきたい。今いただいた意見は非常に貴重どころかなと思ったので、書ける範囲で、考えていきたいと思う。</p>
委員	<p>皆さんが共有する理念は、武蔵野市の農地と農業を守り発展させるということに尽きると思う。ですから読むときには、そのような読み方をされるということを意識し、この計画をどう表現するかというのを考えていけばよいと思っている。</p> <p>第2章のところは、章のタイトルと内容が整合していないと思う。</p> <p>計画の概要ということであれば、その後に出てくる第4章、これがまさに計画の概要に当たるものだと思う。ですから、第2章の内容の次に、第4章を持ってきてしまったほうが分かりやすいと思う。</p> <p>それから第3章と第4章については特段大きな問題があると思わないが、課題をどのような順序で記載していくかということ、これはもう一度意識していただいたらよいと思う。計画を策定するうえで、どのような順序で記載されているか、見えるようにした方がよい。</p> <p>それから第4章は、先ほど申し上げたように、前回までの議論を踏まえて、非常にうまく整理されていると思う。</p> <p>細かいことと言えば、基本方針の2の「地産地消の推進／環境保全型農業の推進」というのは、基本方針の3</p>

	<p>に移したほうがよい。基本方針3の「安定した農業経営確立の支援／認知農業者等の認定及び支援」は基本方針の1のところに移したほうがよい。基本方針の2の「市内農業の歴史及び文化の継承」トップに持ってきたほうが、前提としては読みやすい。</p> <p>それから、第5章のところは特に大きな問題を感じなかった。それまでのところの検討を踏まえて、必要があれば、また再整理をしていただければと思う。</p> <p>環境問題と一緒にすることができるかどうか分からないが、現場の問題としては、鳥獣害のことが結構重要になってきているので、課題や現状のところは、それを少し頭出ししておいたほうが、施策を考える際の理解に助かるような気がした。</p> <p>市民農園について、ほかの項目と同じようなレベルで認識する必要があるのかということを感じた。</p> <p>あと、課題のところは、現状のところの数値の引用を可能であればして、こうだからこのような課題があるという説明ができるに越したことはないという気がする。</p>
事務局	<p>課題の順番と施策の展開の順番については、きちんと精査してまいりたいと思う。課題の順番に対応させるという考え方なのか、それとも重要なものから順に挙げていく考え方なのか、というところで2通りの考え方が挙げられるのではないかと思う。再度、きちんと検討していきたいと思う。</p> <p>また、第5章の施策の展開、具体的な施策との対応の部分については、課題の順番と合わせて記述をすべきか考えたところである。現状は、このような形にばらばらになっているが、第5章の書きぶりや順番と、今申し上げた農業の課題の部分との対応については精査をしていきたいなと思っている。</p> <p>先ほどの順番の件について、重要なものを前に、上のほうに持ってくるのか、課題の順番に対応させるという考え方を取るのか、もしよろしければ意見等もいただければなと思っている。</p>
委員	<p>「1 農地の保全／特定生産緑地の指定更新」「2 担い手の確保」が根幹的な部分で一番大事なのだろうなど</p>

	<p>考えた。</p> <p>もちろん3番から9番も大事ではあるが、畑、人がないと、学校給食や伝統野菜に力を入れたりすることができないため、重要なところは1番、2番なのかなと思った。</p> <p>順番は、これからみんなで話し合えばよいと思う。</p>
委員	<p>私からは食農教育のところについて、ここだけパーセントで重量ベースで書かれているが、現況のパーセンテージも入れたほうがよいと思う。</p> <p>それと、市内農業の歴史及び文化の継承というところで、栽培継続を支援する取組とあるが、これも何か具体的な取組があるようだったら入れていただけたらよいと思う。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、給食等の数値としてお示しできるものについては検討していきたいと思う。</p> <p>記載する章についても、改めて検討したいと思う。</p> <p>また、伝統野菜の栽培継続についての取組等についても、どういったニュアンスで書けるか検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>私は事務局サイドとして、全体的な構成として、やはりこの計画自体が誰に対して示すものなのかということがとても大事だと思っている。</p> <p>この段階でいうと、我々のメッセージとしては、武蔵野市の農地を守り、農業を守り、それを未来につなげるということが大きなテーマである。それが、この計画の中で理解されればよい。その点において、まず理解されやすいものなのか否かという部分では、まだまだ構成に工夫すべき点があるのかなと思う。そういった意味でいうと、●●委員から御指摘いただいたように、順番や順位というのがとても重要な視点だなと思っているので、もう一度、精査をするべきだと思っている。</p> <p>「農」は、やはり人がありきの話だと思う。農業を実際にやられている方にとって、自分がやろうとしていることに対して行政は何をしてくれるのかという点が、ある程度明白になっていなければいけないと思う。またそ</p>

	<p>れをもって、市民の方々も、武蔵野市が目指していることや、農業をされている方が目指していくものを、最終的に理解できるようなものになっていくような整え方をしていきたい。</p>
委員	<p>私も14ページの基本方針2の「1 食農教育の推進／学校給食における活用の支援」の件について、学校給食についての目標が載っているが、これは本当にとってもよい目標だと思う。市の食育振興財団様と連携して、数字を出していただければと思う。</p> <p>あと、この15ページの「5 情報発信の充実」という点で、例えば市役所で直売をしているとか、直売所マップがあるということ、少しずつ小さなところからでも発信していけば、市民の皆様につながっていくと思う。</p>
委員	<p>第5章の最後のところで、農業者としては気候変動と鳥害の被害を入れていただいたのはよかったと思っている。</p> <p>あと、●●委員もおっしゃっていたが、課題の部分にうまく入れることができたらいと思った。</p>
委員	<p>私個人的には、農業委員会の意見も相当重要だと思う。基本的な理念も、農業者の代表である農業委員会のほうで、ある程度合議的な意見をもらえるとよいと思った。</p> <p>それから、やはり武蔵野市は農地がとても少なく、完全に武蔵野市独自の形で、市民が農に触れ合える機会や、「市も農業を応援しているし、市民の方も応援してください」という点を少し大胆に出していくとよいと思う。市民参加型、応援団、ボランティア、農業体験農園のようなことを記載できないか。</p> <p>もう一つは情報発信。インスタグラムや市の広報等、何か統一されたものをみんなで見れるようにする、というような記載があるとよいと思った。</p> <p>最後に農福連携の話が出ているが、農福連携は、もう既にやられている農家さんもいらっしゃると思う。記載するか否かという議論があったようだが、どのようなきっかけで農福連携ができているのかという点はとても大</p>

	<p>事。アプローチ方法が難しく、細かい点としては、工賃の問題や、誰がそれをサポートするのか、という点がある。やはり、これからの課題・問題として、農福連携は入れるべきではないかなと思った。</p>
副委員長	<p>事務局におかれましては、1章から、また5章につきまして、現状と、また課題と、そして施策等をまとめていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>先ほどから●●委員がおっしゃられたとおり、この体系については、より見やすいようにするべきではないかなと個人的には思う。</p> <p>内容についてだが、「もうかる農業」というような話があったが、私としても農業の業の部分は大事なと最初のほうに話させていただいた。そもそもなぜ厳しいのかいうと、物価高騰や資材高騰によって経費はかさむ一方、付加価値が伴わず、収益化が悪化してきているところがある。その課題に関して記載がないと思うので記載すべき。そこが今後、農業をやる上で、若手も一番考えるところではないかと思う。また情報発信をして、消費者の方にも問題を知っていただくべきである。</p> <p>また、3期の計画にも「収益性の悪化」という文言が入っているため、4期に関しても、そういった点は必ず記載していただきたい。そもそも根本的な「業」の部分が全くない記載になると、我々としては、方向性が違うのではないかと思ってしまう。</p> <p>あと、基本方針の2「1 食農教育の推進／学校給食における活用の支援」のところで、給食の目標数値について記載されているが、ここから10年間、ずっと大事なものになるため、かなり重く考えた上で、検証を重ねて、数字の決定をするべきではないかと思う。事務局の方と一緒に相談しながら、ここは慎重に行っていただくのがよい。</p>
事務局	<p>学校給食の部分は、本当に、皆様これに向かって全力で頑張らせていただいているので、こちらについては本当に精査をして数字を出したい。武蔵野市給食食育振興財団の担当に状況をお話しさせていただいたところ、端境期を除く重量ベース、金額ベース、品目ベース、いずれ</p>

も数字としては算出は可能だろうという回答をいただいている。

特に端境期を除く重量ベースについては、今年度の6月、7月は、とても高い割合で学校給食に市内産納めていただいている、70%ぐらいというところであるため、端境期を除く最盛期のみの数字であれば、50%というのは決して夢のような数字ではないと思う。

また、金額ベースについては、一般の業者と比べて、学校給食に納品されている農産物の金額は安いため、金額ベースで数字を出すとなると、比較的lowめの数字が出てくる可能性がある。

ただ一方で、稼げる農業の話を見ると、そもそも市内産の農産物の方が安いという現状自体がおかしいという話もあるかとも思うので、この金額ベースの数値を少し高めに設定するという可能性もある。

また、品目ベースについても、やはり市内では生産されていない野菜もあり、財団の担当によると、そこまで高い数字にはならないのではないかとのことだった。そのため、3つの指標からすると、端境期を除く重量ベースというのが、一番高い数字になってくると思われる。

市民参加型というところについても、この計画の中でも重要なポイントとして記載をしなければならないという認識。市民参加型の部分については、もう少し踏み込んだ記述ができないか考えてまいりたいと思っている。

直売所マップについても、本市の場合はグーグルマップも利用して、インターネットで2次元コードからアクセスし、直売所の場所が見ることができるような仕組みも取ってはいるものの、まだまだ課題がある。

武蔵野市でも農福連携については若干の取組を進めており、3年前ぐらいから、市内でも試行事業ということで、NPO法人に御協力いただき、福祉との農業との連携を進めていただいている。また、昨年度、福祉の作業所や事業所に向けて、農福連携に興味があるのかというようなアンケート調査を実施しており、おおむね農福連携に取り組んでみたいという意見が多くあった。農福連携の記載については再度検討したい。

あと、副委員長等からもお話しいただいた、収益化の話については、確かに課題から抜け落ちてしまってい

	るので、きちんと記載をしていきたいと思っている。
副委員長	どこからが「端境」か、というのは、一般の方が分からないと思うので、市民の方が分かりやすいような記載が大事かと思う。
事務局	端境期の定義が当然必要となりますが、その定義が難しい部分がある。「本計画における端境期については何月から何月とする」というような表現の工夫は必要かと思う。
委員長	6章以降について御説明いただいて、全体の構成を、もう一回、皆さんと検討するということにしたいと思う。
	事務局より、6章と7章についての説明を行った。
委員	第7章について、目標が下がってよいのかと違和感を覚える。せいぜい横ばいではないか。 皆さんが参加できる、何か他市町村ができないような一つの仕組みを提案していくとよいのではないかと思う。
委員長	よろしいですか。
事務局	目標が下がってよいのかというのは、おっしゃるとおりとは思いますが、ただ、現行の第3次の計画でも同じような形での記載にはなっている。現実性の薄いものを書くことへの抵抗感もあり、大変難しいところ。我々事務局だけではなく、農業委員会の意見も聞きながら、次回、また改めてお示ししたい。
委員	第7章での取扱いにやはり違和感がある。この部分にだけ変更があった時の事務処理のことも考え、本編と一緒にするのはどうなのだろうと思う。「附章」や「別冊」のようにするのか、ほかの市を参考に検討するとよいと思う。

事務局	<p>この委員会は「農業経営基盤強化促進法に規定する基本構想としての基本計画の策定及び改定を行う委員会、組織体である」というふうに置いているので、農業振興基本計画の全く外に、その基本構想部分を出してしまうのが、運営上よいのかどうかという、極めて事務的な議論がある。</p> <p>とはいえ違和感があるというのは至極当然なので、リード文でうまく表現をするのか、あるいは別冊にしないまでも、別くくりとする等、皆様の理解を損なわないように構成できたらよいと思う。</p>
副委員長	<p>6章のところで「他自治体・行政機関との連携・協力」とあるが、我々都市農業をやっていると、税との関係はどうしても切り離せない。都を通じて国に要望している。「国」という記載をしてしまうのはどうなのかと思いつつ、根本の大元なので、大事な部分。</p> <p>この経営モデルに対しては、我々の武蔵野市の農地に関しては、モデルの内容は少し精査しなければいけないと思う。給食出荷に特化したモデルもあってもよいと思う。</p> <p>また最低の所得目標が300万という設定になっているところについて、認定農業者の関係でこのような記載にしていると思うが、その辺も都市農業として頑張っている農家がいるという意味で、300万円未満の場合も記載すると、メッセージになると思う。</p>
事務局	<p>国との連携については、声を上げていくというところが必要だと思う。記載方法の検討はしっかりしていきたい。</p> <p>たしかに給食については大きなモデルになっていると思う。300万円を下回るモデルを出すことで、整合が取れなくなる可能性気にしつつも、実態に即しているものにしないと意味がないと思うため、東京都ともお話しさせていただきながら、ブラッシュアップしたい。</p>
委員	<p>税制のことに関する意見として、当然、武蔵野市も本当に非常に厳しい状況にあるというのは間違いない。だからこそ、我々が発信しなければいけないという立場でもある。ただ、それを計画上に記載するか否かというの</p>

	<p>は、また別の話だとは思。ただ、課題意識として、都市部の農地を保全するためには、税制というものが非常にインパクトがあるものなのだとすることを文章中に表現をするとよい。</p> <p>国に対して、自治体が何かを担ってもらおうということ自体が、そもそも可能ではない気がする。我々は国と並列の関係である。逆に言うと、国からしても並列の関係であり、何かを担うということ自体ができない。そういった意味で、この計画の中に何か記述することは、行政の立場からすると、とても難しいと思う。ただ、だからこそ本文に、国にしっかり考えてもらう必要がある旨を少し強化して書くというような形でやるべきなのかと思う。</p>
副委員長	<p>確かに協力関係という部分では違うのかもしれないが、メッセージ性をどこかに入れるという点では、一つインパクトがあるものにしないといけないかというのは強く思うところである。</p> <p>300万以下のモデルを書く点については、面積が少ない中で頑張っている方がいるという意味で、記載するのは有効だと思う。</p>
事務局	<p>東京都の●●委員とも調整し、300万円以下のモデルも載せてよいということの裏が取れれば、どのように載せるのか議論ができると思うので、次にまたお示しできればと思っている</p>
委員長	<p>7章については、やはり検討が必要。</p> <p>現行計画だと、第7章のところに「基本構想に定めるその他の事項」という部分がある。やはり武蔵野市の農業・農地問題というのは、東京都の基準、あるいは国の基準と合わない。その中で頑張っており、違う指標なり目標は立てる必要がある。都市型の農業経営としての武蔵野市の所得目標等、さまざまな設定方法ができるかもしれない。</p> <p>また、令和3年で掲げた基本目標については、現状、どこまで到達しているのか、困難だったものは何かということも、整理する必要ある。</p>

事務局	<p>誤解のないように申し上げておくと、その前の章でも基本構想に定める事項の記載はあるものの、記載をしきれなかった事項について、最後に触れるという意味合いから「基本構想に定めるその他の事項」となっている。</p> <p>また、振り返りについては、今回のたたき台の冊子の5ページ以降のところに、前回の計画策定時に比べた状況について書かせていただいている。</p>
(3) その他・事務連絡について	
事務局	今後の流れについての説明を行った。
委員長	<p>それでは、本日より予定しておりました審議事項を全て終了いたしました。これで第4回委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>

閉会時刻 午後4時38分